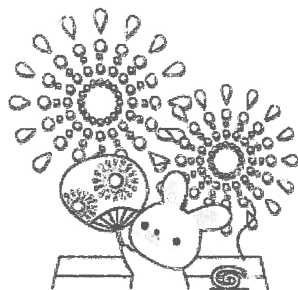




# KSK あまねだより



(頒価 20 円)

発行 神奈川県障害者定期刊行物協会  
222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
横浜市車椅子の会内  
編集 あまね共同作業所  
239-0805 横須賀市舟倉 1-12-1  
TEL 046-835-0723 FAX 046-833-4062  
2018年 8月10日 第411号

## 共に生きるための土台作り ～相模原の事件を忘れないために～

梅雨明けが早かった今年、猛暑の日々が続いています。この暑さ、半端ないって！とおもってしまいます。しかし、西日本では、大雨による被害が報じられています。障がいのある方が地域で暮らすために、防災も大きな課題です。今まで様々な自然災害が発生するたびに、災害弱者(高齢者や障がい者、外国人等)の防災対策が課題となっておりますが、相手が自然なだけに、難しいところでもあると思います。この度の地震や大雨により、被害にあわれました皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日でも早く復興ができますようにお祈り申し上げます。

さて、2016年7月26日、相模原の施設で起こった19人の障がいのある方が殺される残虐な事件から2年が経過します。この事件を風化させないように、神奈川県をはじめとする行政やご家族、支援者が一体となり、改めて、障がいのある方への理解を啓発していく時期でもあります。この事件を忘れないように、神奈川県は「ともに生きるかながわ憲章」を策定し、7月には広報誌やホームページなどで掲げています。

「ともに生きる」は福祉の世界ではよく言われています。「共生」とも言われ、お互いがお互いを受け入れる社会を目指して！という想いがあります。ある時にふっと、「ともに生きる」とはどういうことなのだろうか・・・言葉では簡単だけれども、本当の意味は深いものかもしれない。と考えたことがあったので、そのことをあまねだよりで書いてみたいと思います。

「ともに生きる」ということを改めて考え見つめ直した時ふと、ある歌が耳に入りました。先日縁があって、コブクロのライブに行った日に聴いた「永遠(とわ)にともに」でした。コブクロの話では、もともとは、スタッフの結婚祝いに作った歌とのことですが、この歌のサビは「共に～」と繰り返し歌います。～のところに「生きる」という言葉は入っていませんが、歩いたり、笑ったり、泣いたり、感じたり、迷ったり、願ったりなどの言葉が「共に」の後に歌われています。お互いがお互いを受け入れる先には、一緒に歩いて一緒に笑ったり、泣いたり、迷うこともあれば、願うこともあり

で、この歌を聴いていた時に、改めて「ともに生きる」という言葉には深い意味があるのではと思っています。人が生きているときは、それぞれに喜怒哀楽があり、たくさんの楽しいことや悪いこと、悲しいことなど一人一人違いますし、中には人には言えない波乱万丈な人生を送っている人もいるでしょう。お互いの気持ちを理解し、築いて、はじめて「ともに生きる」土台ができるのかもしれませんが。

相模原の事件は、決して風化させてはいけない、忘れてはいけない事であると私自身も思っていますし、障がい当事者もその家族も支援者も行政も同じく思っています。気づくとテレビやラジオでもそのことを語ってくれる人が多くいます。神奈川県が強く訴え掲げている「ともに生きる」という言葉は、誰もがお互いを理解し、お互いの悲しみやつらさ、願いを共感しあい、共に喜びあうことのできる社会が本当の理想だと思っています。障がいの有無、国籍、年齢なども全く関係なく「ともに生きる」社会になりますように。

(記 角田)



### ヘルパー募集

社会福祉法人あまねでは、ヘルパーを募集しています。内容は知的に障がいのある人への外出介護になります。

ヘルパー資格を持っていて、やる気のある人を募集しております。時間等も週1回、1時間から相談に応じます。

詳しいことは・・・046-833-2919 (担当：角田)

### 資源回収ご協力ありがとうございます

6月実施分は

18,904kgでした。

(奨励金は75,600円)

次回の日程は別紙にて

お知らせします。

**問い合わせは9:00以降にお願いたします。**

### ☆スケジュール(8月)

- 1日 グループ活動
- 10日 資源回収 池田
- 11日 資源回収 舟倉・若宮台
- 11日～15日 生活介護 夏季休暇
- 28日 クラブ活動

### ☆バザーの予定

4日・5日 神奈川県立保健福祉大学

オープンキャンパス

22日 NTTドコモ

### 【おさがり(お返し)】

ヤマヨ久保田様・出町工務店様  
慈眼院様・正覚寺様 鈴鈴様  
鶴若防災様・南川様・斉藤様

資源回収の折、バザー用品や寄付などを頂きます。お名前を記せませんが、有効に活用させて頂きます。



## 支援センターの一日



先日、埼玉の熊谷で41.1度になり、観測史上で最も高い気温になりました。いつも元気印の私も、風邪やインフルエンザで高熱を出す事があります。大人は、40度近い熱が出ればフラフラして立ってられない程です。

体感温度は、湿度や風によって感じ方は変わるそうですが、アスファルトの照り返しも強く、外に出れば汗が吹き出す暑さに間違いありませんね。

横須賀も連日、30度を越える日が続いています。車を運転していても、日差しが腕に刺さるように熱く、駅まで歩けば頭から汗が流れてきて、洋服もびしょりです。その中で、歩きやバス、電車を利用して支援して下さる、ヘルパーさんには、感謝の気持ちで頭が下がります。暑い中、本当にありがとうございます。

我が家では、子供達の夏休みが始まりました。受験勉強になかなか身が入らない長男、部活動と遊びに忙しい次男、学校行事のキャンプを経験して、とっても楽しかった様子の末っ子と、母は毎日「宿題は計画的にやるんだよー！」と声かけしながら奮闘したいです。寝転ぶ子供達に、イライラもしますが、室内ではエアコンをうまく利用して、猛暑日乗り越えましょう。

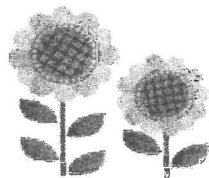
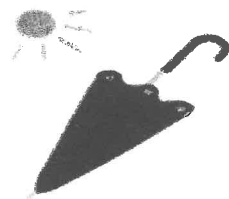
今回の昼の部は、乳幼児期の方から小学校に通う方の状況について話す時間を設けて、全体で話し合う大きなテーマを設けずに、皆さんが困っていること、工夫していることを自由に話せる場になっていました。

私事ですが、介護や福祉に携わる仕事を始めて10年経ちました。意見交換会の開催は知っていたのですが、お恥ずかしながら去年初めて参加しました。行ってみると行政や教育委員会、当事者、ご家族、横須賀市内の作業所のなかま、その他にもたくさんの方が参加されていました。皆さんのご意見がとても興味深かったので、今年は事務員さんも誘い、支援センターの職員三名で昼の部に参加してきました。

司会は、今年も海原理事長が務め、発言者の言葉を丁寧に受け止め、集約していました。あまねの生活介護に通うなかまも、全員が挙手！積極的にそれぞれの視点で発言していて、「お給料がもっとほしいです。」「住み慣れた家で、生活し続けたい。」どちらの意見もなかまの本音であり、大切な事だと思いました。

この他にも支援センターで勤務しているだけでは、気づけない意見をたくさん聞かせてもらいました。あがり症の私は、緊張してしまい手を挙げることも出来なかったのですが、来年こそは発言しようと、自分への課題を決めました。

(文責 藁谷)



### 今年も参加してきました！ 意見交換会（昼の部）

ご存じの方も多いかと思いますが・・・

障害者施策検討連絡会の意見交換会とは、(主旨説明より抜粋)

施策検討連絡会は、障害の相互理解と障害のある人が、地域で生活しやすくするための施策の検討と提言を定期的に行っています。障害のある本人への支援が、暮らしの中で、働く中で、教育を受ける中で本人の希望するようになっているかということです。

意見交換会は、検討をするための意見を聞く場になっていて、当事者、ご家族、支援者が発言する事ができます。

### ヘルパー募集

社会福祉法人あまねでは、ヘルパーを募集しています。内容は知的に障がいのある人への外出介護になります。

ヘルパー資格を持っていて、やる気のある人を募集しております。時間等も週1回、1時間から相談に応じます。

詳しいことは・・・046-833-2919

(担当：角田<sup>かくた</sup>)

### ふきん販売に

### ご協力ください！

布地8枚重ね 3枚組

660円

ご注文は作業所まで

**046-835-0723**